

ふるさと応援団木島平会会報

新年親睦交流会が開催されました

1月17日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷でふるさと応援団木島平会の新年親睦交流会が行われました。今年で3回目の開催となる今回は23人が出席し、情報交換や近況報告などをして交流を深めました。参加された会員の中からは「今年は暖冬の影響で雪も少なくスキー場は大変みたいでですね。」など心配される声もありましたが、ふるさと木島平の話題に尽きない楽しい時間となりました。

また、恒例となっている村の特産品が当たる福引では、当たった方、当たらなかった方の歓声やため息も聞こえ、大いに盛り上がりしました。「新年会は毎年出席していますが、会員同士の出会いの場になり皆さんの元気な顔が見られるので嬉しいです。」との声もあり、参加された皆さんは有意義な時間が過ごせた様子でした。



消防団人事発令式

2月2日、村消防団幹部の人事発令式が役場で行われました。正副分団長、正副ラッパ長の任期満了による改選によるもので当日は湯本団長から発令を受けました。消防団は、防火思想の啓発、隣近所の予防警戒巡視から火災の消火、行方不明者の捜索さらには豪雨災害、地震等における消防活動など広範囲に及んでおり地域には欠かせない存在であります。地元に着した消防団は常備消防と相俟って、地域消防防災体制の中核的役割を果たすことが期待されている中、発令を受けた幹部は「消防団の任務は村民の生命と財産を守る。を合言葉に気持ちを引き締め頑張りたい。」と固く誓っておりました。



園児が豆まきに奮闘

2月3日の節分の日、村内の3保育園では大きな鬼も登場し豆まきが行われました。さすがの鬼たちも元氣な園児たちに囲まれて「鬼は外!」っと大きな声で豆を投げられると手も足も出ないようで、「ごめんなさ〜い」と謝りながら退散してしまいました。中には鬼にびつくりして泣き出す子どもたちもいましたが、鬼の後は「福は内!」一人ひとりお菓子をもらってようやく子どもたちにも笑顔が戻りました。



☆区民の声☆ 元氣な活動や自慢、今後の展望を紹介

中島区 地区のテーマ (将来像) 自然と歴史の故郷づくり

中島区は、戸数80戸、240人余りの地区です。古くは鎌倉時代、毛見郷の地頭毛見氏の館が中島の地であったことからその歴史は古く、そうしたことから「自然と歴史の故郷づくり」をテーマに掲げています。

区の活動としては、地区づくり委員会を中心に区内に数多くある石碑、石仏などの調査を行い、由緒、由来を載せたマップづくりも進めてきました。これらを調査、学習する中で、当時の村人との関わりを学び、これからの我が区の指針にもしたいと考えています。「國王桜」に見られるような人情厚い風土の継承はもちろんのことです。

また、10年前の計画で梅苗150本の植栽をしたところですが現状を調査し、更に梅の里づくりを進めていきます。更に平和橋と山口橋間の遊歩道化も行いました。延長900mに碎石を敷き、区民で管理しながら高社山を背景に流れる樽川の景観や夏の朝、樽川から湧き上がる冷気などを観光で訪れた皆さんにも体感してほしいと思っています。



▲子どもから大人までが楽しむ市神祭

木島平スキー場

今年は暖冬の影響で降雪量も少なくスキー場にとっては厳しいシーズンとなっていますが、この時期は、地元、近隣小学校のスキー教室や姉妹都市の調布市をはじめとする県外からの修学旅行等の団体の受け入れで忙しさを増しています。

スキーシーズンもまだ半ば、整備したての朝一のグレンデや幻想的な世界を彩るナイター滑走もまた格別です。みなさんも是非体感して、思い出の一コマにしてみたいかでしょう。お待ちしております。

